

「標準採血法ガイドライン（第1版）」（冊子）のご紹介

2004.7月

平成16年7月1日、日本臨床検査標準協議会（JCCLS）は初めて標記ガイドラインを発行した。

同ガイドラインは、医師、看護師、臨床検査技師、医療機材製造業界の代表者と厚生労働省のオブザーバーによる「標準採血法検討委員会」の検討結果をまとめたものである。今後、一定期間をおいて、各界の意見等を集約し、最終的なガイドラインに改定する予定である。

ガイドラインでは、真空採血管と注射器による2通りの採血方法について、手順ごとにその根拠および注意事項を紹介しているが、真空採血管採血時の駆血帯解除のタイミングについては「最後の採血管を抜いた後に駆血帯を外す」ことを標準法として提案している。解除のタイミングによるメリット・デメリットも巻末の表にまとめている。

同冊子は学術広告社で販売（1冊税別500円）している。

購入：学術広告社 .03-3816-7678

参考：(社)日本臨床衛生検査技師会公式ホームページ(ガイドライン
抜粋掲載) <http://www.jamt.or.jp/>